

# 私のとっておき 長浜



## 加納白山公園 (加納町)

宮戸 勝直さん (加納町)



このコーナーは、市民の皆さんのとっておきを紹介する市民情報交流コーナーです。市内の風景、場所、食べ物など、あなたの「とっておき」を紹介してください。市民広報室まで(☎65-6504) ※営利を目的とした利用はできません。

私が子どもだった頃、白山公園にある池は、かんがい用のため池でした。

ため池には地下水が湧きでる場所があり、四方を丸太で囲い、ある程度の水深がありました。また、池の側に大きな杉があり、枝が池の方に張り出し丸太の枠を見下ろせるようになっていたため、そこは子どもにとって恰好の「度胸だめし」の場所でした。幼馴染みたちと枠の中心めがけて何度も飛び込んだことを、懐かしく思い起こします。

現在は市によって整備され、さながら庭園のような風情を漂わせています。これからの時期は、池の周囲のもみじなどが色づき、見ごろを迎えます。春の桜も見応えがあり、散った花びらが水面に浮くさまは美しく、毎年楽しみにしています。



# ながはま 見聞録

Nagahama Hotnews

このコーナーは、長浜の見どころ、市民の皆さんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介します。あなたが知っている旬の話題などがあれば、市民広報室(☎65-6504)までお知らせください。市公式Facebookページではさらに詳しくみることができます。

<https://www.facebook.com/nagahama.hotnews> 「長浜 ほっとにゅーす」 検索



上左 アートインナガハマ



上右 火縄銃大会



右 きもの大園遊会

10月5日(土)・6日(日)、  
12日(土)・13日(日)

## まちなかの賑わい、華やかに

長浜城再興を記念して始まり、秋の一大イベントとなった「長浜出世まつり」。中心市街地で開催された「アートインナガハマ」では、全国各地から集まったアーティストたちが展示や販売、実演を行い、訪れた人たちは芸術の秋を味わいました。

また火縄銃大会では、友好都市西之表市と国友の鉄砲隊が演武を披露。火をふき、体に響くような筒音を上げる火縄銃に、観客らは大きな拍手を送りました。

同日に開催された「きもの大園遊会」には、市内外からおおよそ700人が参加。色とりどりの着物に身を包んだ参加者らは、多くのカメラマンのリクエストに応えるなどし、まちなかを華やかに彩りました。

10月13日(日)

## 大道芸フェスタ in虎御前

世界で活躍するパフォーマーが虎姫生きがいセンターに集結し、さまざまな芸を披露しました。

ジャグリングで世界一となった経歴を持つ矢部亮さんは、中国ゴマ「ディアボロ」を使った演技などを披露。また、「ロボットのだみ」さんは、ストーリー性のあるパントマイムで、来場者を感動の渦に巻き込みました。

このほか、地元団体等による飲食ブースなども用意され、訪れた人たちは秋晴れの休日を楽しみました。



10月6日(日)

## 浅井家のふるさとを満喫

郷土の歴史文化を活かし、地域を盛り上げようと毎年開催されている「小谷城ふるさと祭り」。前夜祭「饗応の宴」では、地元の女性グループ「赤谷の里」の皆さんによる現代風戦国料理が振舞われました。

本日には、さまざまなステージショーや地元自治会などによる模擬店の他、総勢約100人ももの武者行列が行われ、訪れた人たちは戦国ドラマの舞台となった小谷城下での休日を楽しみました。



10月13日(日)

## 戦国ドラマの舞台となった地で、心地よい汗を

秋の恒例ランニングイベント「あざいお市マラソン」が、浅井文化スポーツ公園を発着点にして開催され、全国から5,736人のランナーが参加しました。

好天に恵まれた秋空の下、参加者は自己記録の更新や完走をめざし、コスモスが咲き誇る草野川沿いを走り抜けました。

京都市から今回初参加の田中真介さんは、「沿道で地元の人たちが応援してくださったのが嬉しく、心温まるいい大会でした」と話しました。



10月6日(日)

## 食と文化で世界を巡る

地域に暮らす外国人と日本人が交流しながら、異文化への理解を深めようと「ながはま多文化共生フェスタ」が開催されました。

会場では外国の文化を学ぶワークショップや民俗衣装の試着、折り紙・書道体験教室が行われた他、世界の料理が味わえる屋台が軒を連ね、交流の輪が広がりました。

午後には、母国語以外の言語で歌う国際カラオケ大会が開かれ、13人の出場者たちは、伸びやかな歌声を響かせ、会場を沸かせました。